

学校 教育 目標	○知 : 目標に向かって努力する生徒 ○徳体 : お互いを認め、命を大切にしている生徒 ○公開 : 社会に貢献する生徒				
	創立 50 周年	学校長 赤堀 貴	副校長 梅宮 和幸	2 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 5
学校 概要	児童生徒数: 571 人		主な関係校: 中田小学校、東中田小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・自律的、主体的に判断、行動する力 ・人間関係を形成する力 ・互いの良さを生かして協働する力 	中田中学校 中田小学校 東中田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え、判断する力を育てます ・自分も他者も大切にする心を育てます ・中田のまちの良さを愛する心を育てます。 ・小中合同授業研究会を通して、指導の連続性を図る。 ・既存の児童生徒交流の場を生かし、3校の交流を促進する。 ・ブロック内専任会を柱に、児童生徒指導についての定期的な情報共有を密に行う。

中期 取組 目標	○生徒ひとり一人が生き生きと活動し、自分の居場所を感じられる学校づくりを進めます。 ・自己理解、他者理解に努め、違いを認め合い、人と人とのつながりを大切にしている心を育てます。 ・小さな達成感の積み重ねを大切に、自尊感情を育てます。 ・しっかりと自分の考えを持ち、目標に向かって粘り強く行動する力を育てます。 ・個に応じた指導を充実し、学習保障を確実にするとともに、考える授業の実践を目指します。 ・教職員のチームとしての力を高めるとともに、家庭・地域および小学校・関係諸機関との連携を深めます。 ・創立50周年に関わる取組を進めます。
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①授業公開週間、小中一貫教育ブロックで授業公開し、より分かる授業を研究推進する。②数学科、英語科の少人数指導で基礎基本の定着、習熟度別学習も取り入れる。③授業評価を実施し、授業改善につなげる。④授業研究月間で授業を見合い意見交換し、授業力向上を図る。
担当	教育課程委員会	
徳	豊かな心	①朝のあいさつ運動を行い明るく安心できる学校にする。②朝会で生徒が校外行事や職場体験などの報告をし体験を共有する。③GWT活動を行いコミュニケーション力を高め、互いを認め合う関係をつくる。④卒業生を送る会を行い、全校で幸福感を共有し自己肯定感を高める。⑤道徳教育を充実させ、一人ひとりの個性を認め合える学校づくりを行う。⑥校外学習・宿泊学習の見直し・検討、実施を通して、生徒それぞれを理解し、互いを認め合う関係をつくるを進める。
担当	特活指導部 学習指導部	
体	健康教育	①誰もが楽しみながら運動に参加できるよう保健体育科の授業や部活動の改善を図るとともに、体育大会や学年集会を生徒が主体になって運営できるようにする。②主体的に健康な生活を実践することができるよう、健康・安全についての理解を深めるとともに、計画的に健康教育を実施する。
担当	保健指導部	
公開	地域連携	①地域の方を職業講話の講師として招くことで、地域の教育力を学校の現場に生かしていく。②地域の事業所等で行う職場体験を通じて、実践的コミュニケーション等の社会性の向上を図る。③地域行事への生徒参加を促し、生徒が積極的に関わる環境を作っていく。④50周年記念事業に向けた取組を進める。
担当	特活指導部 生徒指導部	
いじめへの対応		①教育相談や月の振り返りを活用し、学校生活の様子を注視することにより、生徒一人ひとりの気持ちの変化や学校生活での不安を把握し、生徒の状況に応じた寄り添った指導や支援ができるようにする。②特性に合わせた適切な支援が行えるように研修を行い、支援体制を確立する。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①月1回の学年会の中で研修の機会を持ち、学習指導や生徒指導の研究を深める。②企画会を通して各部署との連絡調整を行い、組織の活性化に努める。③持続的に機能する組織を目指すために情報の共有、引き継ぎの徹底を図る。④定時退勤日の設定や部活動指導員の活用などを進める。
担当	教務部 管理職	
周年行事への取組		①50周年記念に際し、教員サイドの組織的な活動を進め、成功に結びつける。 ②50周年記念に関し、生徒会本部を中心に、生徒主体の活動を進め、達成感をもたせる。 ③地域との連携強化を一層図る。
担当	管理職 生徒会	
特別支援教育		①個別の指導計画、教育支援計画を作成により、共通理解を図り、生徒理解に努める。②より多くの職員で情報共有を行い、生徒の現状を把握し、必要に応じて計画の見直しをする。③職員研修会の充実を図り、日々の支援に生かせるよう促す。④特別支援教室の活用を見直し、「居場所づくり」「学習保障」を進めるとともに、「どこでもスタディ」の活用を進める。
担当	特別支援教育委員会	
a14		b9
担当		
a15		b10
担当		